

令和7年度日本小児外科学会
第4回定例理事会議事録

日 時：令和7年9月9日（火）11：00～17：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者：家入里志（理事長）、菱木知郎（副理事長）、小野 滋（次期会長）、加治 建、
曹 英樹、田中秀明、平林 健、尾藤祐子、渡辺稔彦（以上理事）、田中奈々（庶
務委員長）、照井慶太（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、
柴田晶子（事務局）

出席者（WEB）：

内田広夫、木下義晶（以上理事）、浮山越史、田尻達郎（以上監事）、
大植孝治（第41回秋季シンポジウム会長）、淵本康史（第42回秋季シンポジウム
会長）、文野誠久（施設認定委員会委員長）、石丸哲也（専門制度庶務委員会委員長）

欠席者：松浦俊治（専門医認定委員会委員長）、城田千代栄（会長付庶務委員）、山田洋平（財
務会計委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第4回定例理事会の議事録署名人は、木下義晶理事、曹 英樹理事とした。
2. 令和7年度第3回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第63回学術集会について（内田会長）

内田会長より、資料に基づき進捗状況が報告された。

- ・小児救急医学会とのジョイントセッションを領域講習とする予定であることが報告され
た。
- ・ポスター発表は行わず、ショートオーラルを行う予定であることが報告された。

会 期：2026年6月11日（木）～6月 13日（土）

会 場：名古屋コンベンションホール

主 題：Bright Future for Children

輝く未来へ 小児外科の技術を磨く

同時開催：・WOFAPS regional meeting

・MIS workshop (fee required) （会場：名古屋大学医学部附属病院）

2026年6月9日（火）

2) 第64回学術集会について（小野次期会長）

小野次期会長より、資料に基づき進捗状況が報告された。

- ・U45WGのセッション、専門医制度委員会報告、倫理講習などの開催を検討していること

が報告された。

会 期：2027年5月26日（水）～29日（土）

5/26（1日目）：理事会・評議員会・各種会議？

5/27～29（2～4日目）：学術集会

会 場：国立京都国際会館（<https://www.icckyo.or.jp/>）

会 長：京都府立医科大学小児外科教授 小野 滋

学術集会事務局：京都府立医科大学小児外科（事務局長 文野誠久）

学会運営事務局：日本コンベンションサービス

学会テーマ：未定

3) 第41回秋季シンポジウムについて（大植秋季シンポジウム会長）

大植秋季シンポジウム会長より口頭で進捗状況が報告され、承認された。

- ・プログラム概要が報告された。

日時：令和7年11月1日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

4) 第42回秋季シンポジウムについて（淵本次期秋季シンポジウム会長）

淵本次期秋季シンポジウム会長より口頭で進捗状況が報告され、承認された。

- ・PSJM2026/第42回秋季シンポジウムのポスターが確定したことが報告された。
- ・会場+オンデマンド配信を予定していることが報告された。

日時：令和8年10月31日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

5) 第43回秋季シンポジウムについて（加治次々期秋季シンポジウム会長）

加治次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき準備状況が報告された。

- ・10月4日にキックオフミーティングを開催する予定であることが報告された。

日時：令和9年10月23日（土）

会場：久留米シティプラザ

テーマ：食道閉鎖症 Update

運営事務局：西日本企画サービス

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（田中委員長）

田中委員長より、資料に基づき報告された。

2025年8月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,598名（うち海外3名）、評議員271名、準会員19名、名誉会員61名（うち海外8名）、特別会員65名（うち海外1名）、賛助会員1団体の合計2,014名+1団体である。

- ・海外名誉会員の推戴に関する内規案が承認された。
- ・新海外名誉会員の記念講演に関する内規改訂案が、一部文言を修正の上、承認された。
- ・小野 滋理事より、新海外名誉会員に Prof.Agostino Pierro が推薦され、2026 年度総会で推戴することが承認された。

(2) 財務会計委員会（山田委員長）

山田委員長欠席のため、上原副委員長より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

文野施設認定委員会委員長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・ 7 月 27 日（日）11:00～16:20 AP 品川において、第 1 回審査が行われたことが報告された。
- ・再審となる第 2 回審査はメール審議で行われ、カリキュラム記載不備や指導医登録番号洩れなどの 5 施設の更新申請が承認されたことが報告された。また、2024 年次報告のあった 24 施設中 23 施設は承認されたが、1 施設については継続審議中であることが報告された。
- ・少子化における今後の専門医制度の在り方について、指導医手術要件の見直しや専門医・指導医育成のためのマッチング・オープンシステムの検討をしていることが報告された。ひきつづき、理事会や専門医制度委員会で検討を行っていく予定であることが報告された。
- ・ 8 月 20 日に開催されたサブスペシャルティ領域懇談会に参加したことが報告された。
- ・施設認定申請要件にある「施設実施調査（サイトビジット）」を「NCD 監査」に修正したことが報告された。
- ・専門医機構認定のサブスペシャルティの研修細則の文言と一致しない「専門研修医」「専従」「兼任」といった用語について、定義や文言の変更を検討していることが報告された。
- ・2026 年 4 月 23～25 日に札幌で開催される日本外科学会学術集会での専門医制度に関するセッションで、石丸専門医制度庶務委員長が発表予定であることが報告された。
- ・来年度の施設認定委員会について、平日開催の可能性を検討することが提案されたことが報告された。

松浦専門医制度委員会委員長欠席のため、石丸専門制度庶務委員会委員長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・ 2025 年度 専門医認定委員会活動予定について報告された。
- ・ 2025 年 11 月 16 日（日）に第 24 回小児外科専門医筆記試験を実施する予定であることが報告された。
- ・ 8 月 20 日に開催されたサブスペシャルティ領域懇談会に参加し、サブスペ機構専門医の開始時期について、準備ができ次第、2026 年度以降可能であることが報告された。
- ・ 2025 年専門医・指導医申請（新規・更新）について、7 月中旬から受付を開始し、8 月 31

日締め切ったことが報告された。

- e-learning を取り入れた専門医更新基準の検討する上で、e-learning のコンテンツと運用について小児外科卒後教育セミナーとの調整を検討していく必要を考慮し、教育委員会と web 会議で議論を重ねていることが報告された。
- 指導医認定基準見直しの必要性について検討していくことが報告された。

石丸専門制度庶務委員会委員長より、専門医制度のあり方について、文野施設認定委員会委員長・松浦専門医制度委員会委員長・石丸専門制度庶務委員会委員長でミーティングを行い、現行の専門医制度の問題点を整理して対応策を検討することとなったことが報告された。

(4) 機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、口頭で機関誌委員会が開催されたことが報告された。

田中担当理事より、資料に基づき PSI (JSPS Issue) Publication Committee について報告された。

- PSI JSPS Issue 投稿規定が提示され、一部文言を修正し、承認された。

(5) 国際・広報委員会（家入担当理事）

家入担当理事より、口頭で報告された。

- 和田 基評議員より 2027 年に開催される 第 20 回 国際腸管リハビリテーション・移植学会 (CIIRTA: Congress of the International Intestinal Rehabilitation and Transplant Association) の開催地が、正式に「東京」に決定したことを受けて、開催時期についてアンケートを実施したいとの連絡があったことが報告され、承認された。

(6) 保険診療委員会（木下担当理事）

木下担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- 2025 年 8 月 4 日 厚労省ヒアリングにて施術新設の 2 項目についてプレゼンテーションを行い、質疑応答を実施したが、9 月 9 日の時点では厚労省からの追加質問や修正依頼は届いていないことが報告された。
- 2025 年 9 月 2 日、令和 7 年度第 1 回外保連手術委員会が開催されたことが報告された。
- 令和 7 年度医療技術評価報告書について、ロボット支援手術検討委員会に報告書を作成していただき、保険診療委員会から提出したことが報告された。この報告書に対して、厚労省保険局医療課より医療技術評価報告書の提出が求められたことが報告された。

(7) 教育委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より資料に基づき報告された。

- 小児外科学会専門医に関わる外科学会 e-learning の運用について、8 月 26 日に、専門医制度委員会・教育委員会の合同会議を開催したことが報告された。専門医制度委員会で専門医更新に関する要件を検討し、教育委員会では、その要件を踏まえて e-learning コンテンツを検討していく方向であることが報告された。

- ・ 8月30日に名古屋大学で開催された小児外科サマースクールについて報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、今回は特に報告がない旨が述べられた。

(9) 学術・先進医療検討委員会（木下担当理事）

木下担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・ 8月20日に第1回委員会が開催されたことが報告された。
- ・ 優秀ビデオ演題選出ルールについてメール審議を開始し、2027年度総会から適用すべく議論を重ねていくことが報告された。
- ・ 会員対象のアンケート調査の報告書について、催促を開始したことが報告された。
- ・ 若手研究助成について、8月25日に開催された総合調整委員会で寄せられた意見を反映した募集要項案・申請書案が提示され、一部文言を修正し、承認された。
- ・ 若手研究助成決定までの流れや審査方法について、委員会での審査後、3月の理事会で審査結果を報告し、理事会での承認を受けてから結果を通知することが承認された。
- ・ 若手研究助成で採択された課題は社員総会で報告し、次年度の学術集会で研究成果を発表することとなった。
- ・ 若手研究助成の募集は9月末に会員宛に周知することになった。
- ・ 委員会活動による研究の論文の著者および費用の学会負担の在り方について検討したことが報告された。学会の事業およびU45WGを含めた委員会活動から生じた成果論文にかかる費用負担の申請書案が提示され、承認された。
- ・ 日本小児外科学会雑誌の著者の人数制限について確認があり、機関紙委員会で対応することとなった。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・ 前回の理事会で検討することとなった事故調査委員の推薦依頼や、医療事故裁判の鑑定人依頼、アンケートについて、過去の事例や倫理・医療安全委員会の規約に基づいて検討していることが報告された。被推薦者を「1回以上専門医を更新し、小児外科学正会員（名誉会員、特別会員を除く）」とするか「1回以上専門医を更新し、小児外科学評議員」にするかについて、検討中であることが報告された。

(11) データベース委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・ NCDを利用した研究（前向き・後ろ向きハイブリッド研究）「先天性胆道拡張症におけるロボット支援手術の有用性及び安全性評価」の研究代表者である名古屋大学内田広夫先生、研究分担者である城田千代栄先生からの項目追加に関する審議依頼について報告され、委員会で審議した結果、いずれの項目も追加に問題なしと判断したことが報告され、承認された。
- ・ 複数領域研究課題「小児、AYA 世代肝細胞癌の診療状況調査」の研究代表者である檜山

英三先生からの外科学会への演題応募に関するデータ公表前審査の問い合わせについて、データベース委員会委員長と担当理事で、外科学会での発表用抄録を確認し、一部修正の上、外科学会への演題応募は可能と判断したことが報告され、承認された。

- ・2025年度NCDデータを利用した複数領域にまたがる新規研究課題の公募について、公募期間を9月9～22日として会員に周知したことが報告された。

(12) 小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・2026年第63回日本小児外科学会学術集会と2026年第39回日本小児救急医学会学術集会のジョイントセッションについて報告された。小児外科学会学術集会では小児救急医の視点からの報告・討議を行い、小児救急医学会学術集会では小児外科医の視点からの報告・討議を行う予定であることが報告された。両学術集会は日程的に近いため、相互に連動した構成での開催について日本小児救急医学会と協議中であることが報告された。両セッションとも指定演者でパネルディスカッション形式を予定していることが報告された。
- ・2026年第63回日本小児外科学会学術集会では小児救急講習会は開催せず、小児救急医学会とのジョイントセッションのみを開催することが確認された。
- ・2025年7月20日・21日にPALS講習会が開催され、2名が参加したことが報告された。BLS講習会は7月19日に開催したことが報告された。
- ・対象期間を2014年1月1日～2023年12月31日とした「小児の主幹管損傷を伴う外傷性肺損傷に関するアンケート調査」を2025年5月1日～30日にかけて実施したことが報告された。
- ・災害対策本部設定基準を見直し、整備していることが報告された。
- ・10月26日に開催される小児救急連絡協議会に平林理事が出席する予定であることが報告された。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・8月25日に第一回トランジション検討委員会を開催したことが報告された。
- ・「トランジション実態に関するアンケート調査」について、久留米大学倫理委員会での審議の準備を行っていることが報告された。
- ・第3回理事会で指摘のあった小児外科疾患のトランジションと都道府県の移行期医療の連携の可能性について、地域により成人移行期医療の取り組みや進展状況もさまざまなため、トランジション検討委員会で情報収集を行っていることが報告された。

(14) ワーク・ライフ・バランス検討委員会（尾藤担当理事）

尾藤担当理事より資料に基づき報告され、承認された。

- ・8月28日に委員会を開催したことが報告された。
- ・PSJM2025で開催される講演会について報告された。
- ・第63回学術集会での企画については検討中であることが報告された。

- ・働き方改革施行後の実態調査のアンケートの実施状況について報告された。認定施設を対象としたアンケートはすでに終了しており、最終回答率は 94.7%だったことが報告された。個人対象アンケートは 9 月 19 日を回答締切として実施中だが、回答率は 18.1% であることが報告された。アンケート結果について、U45WG とどのように分担するかを検討し、学会発表、論文作成をすることが報告された。
- ・日本外科学会の持続可能な医療提供体制構築を目的とした NCD 研究について、外科医労働環境改善委員会委員である木下義晶先生（日本小児外科学会理事）、城田千代栄先生（日本小児外科学会評議員）、荒 桃子先生（日本小児外科学会評議員）と協力し、小児外科領域で調査する内容を検討していくことが報告された。

(15) 規約委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(17) NCD 連絡委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・ 2022 年・2023 年分の NCD-P Annual Report のデータが日小外誌 61 巻 6 号に掲載されることが報告された。
- ・現在日小外誌に掲載している NCD-P Annual Report の Surgery Today への掲載に関して審議が求められ、承認された。外科学会に話を通した方がよいのではないかの指摘があり、Surgery Today の編集委員会で報告することになった。2024 年度のデータから英文化を行い、2026 年 1～3 月頃の掲載を目指すことになった。
- ・ 9 月 2 日に第 1 回 NCD 連絡委員会を開催したことが報告された。
- ・専門医制度委員会へ NCD 術式の小児外科術式対応表への追加提案が行われ、承認された。
- ・ロボット支援下総胆管拡張症手術のデータを 3 年前（2022 年）にさかのぼって登録することについて検討することとなり、当時のデータを所持していると思われる名古屋大学・日本赤十字社和歌山医療センターに確認することになった。登録にかかる費用について NCD 事務局に確認することになった。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・小児胃軸捻転症診療ガイドラインについて、小児外科学会 HP で 4 月 15 日に公開済であることが報告された。Minds から公開前評価結果が送られてきたので、Minds からのコメントに対する対応をガイドラインの詳細版に記載し、Minds ライブラリへの公開申請をする予定であることが報告された。また、第 63 回日本小児外科学会学術集会で発表する予定であることが報告された。
- ・腸回転異常症診療ガイドラインについて、公開後のアンケート調査結果についての和文論

文を作成し、本学会誌に投稿予定であることが報告された。

- ・先天性食道閉鎖症診療ガイドラインについて、SCOPE および CQ（仮）作成し、現在、統括委員会・作成グループで回覧中であることが報告された。Web 会議で SCOPE をブラッシュアップしていく予定であることが報告された。第 61 回日本周産期・新生児医学会学術集会でガイドラインに関するシンポジウムの指定演者として委員長が途中経過を発表したことが報告された。
- ・先天性高インスリン血症診療ガイドライン改訂の作成グループに理事・委員長・副委員長が参加することが報告された。
- ・先天性門脈欠損症診療ガイドライン作成について、ガイドライン委員会内で審議し、協力することが可決されたことが報告された。
- ・学会 HP 掲載診療ガイドラインの次期更新について 2026 年 1-3 月で作業を行い、2026 年 5 月頃にアップロードする予定であることが報告された。

(19) 利益相反委員会（尾藤担当理事）

尾藤担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・9月19日に利益相反委員会を開催する予定であることが報告された。
- ・日本外科学会を含め、他学会の事例を参考に COI 申告書のデジタル化の導入を進めていく予定であることが報告された。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、資料に基づき委員構成が報告された。

- ・ペリステーションアナルプラグ（コロプラス株式会社）供給停止に関して、2024 年 3 月に日本小児外科学会より継続的な供給並びに早期の後継品開発・市場投入を要望していた。これに対して、2025 年 8 月、日本医師会より「外装の箱のみを新しくして中身は現行のものと同じ製品を再発売する」こととなったとの報告を受けたことが報告された。
- ・日本小児科学会薬事委員会より審議依頼があった供給停止予定医薬品・医療機器品目について、小児外科関連医薬品としてガスコン・バップフォー・IABP カテーテルが挙げられ、委員会メール審議を行ったことが報告された。いずれも代替品で対応可能であろうと判断し日本小児科学会薬事委員会へその旨返答したことが報告された。
- ・国立成育医療研究センター・妊娠と薬情報センターより第 4 回「医療用医薬品の添付文書の妊婦に関する禁忌等の記載内容の変更を希望する薬剤調査」への協力依頼がなされたことに伴い、該当医薬品の選定について委員会審議中であることが報告された。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入理事長）

家入理事長より口頭で委員会開催に向けて日程調整中であることが報告された。

(22) NCD-P Audit Ad-hoc 委員会（菱木副理事長）

菱木副理事長より、口頭で進捗について報告された。

(23) こども家庭庁連絡委員会 (Ad-hoc) (平林担当理事)

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・9月1日こども家庭庁に家入理事長・平林担当理事が訪問したことについて報告された。
- ・今回の面談を通じて、こども家庭庁、厚労省をふくむ省庁への働きかけは足しげく訪問し、関係部署へ同時に要望書を挙げるなど、継続的な働きかけが重要であるとの示唆を得たことが報告された。

(24) 総合調整委員会 (菱木副理事長)

菱木副理事長より、資料に基づき、報告された。

- ・2029年から春季シンポジウムの導入の是非を含む、学術集会のあり方と事業年度について、また、小児外科関連研究会の今後のあり方について検討したことが報告された。
- ・JSPS Research Grant について検討したことが報告された。
- ・理事の小児病院・こども病院枠の設置について、女性理事枠と同じ扱いとするかも含めて検討したことが報告された。
- ・次期から総合調整委員会の名称の変更を行う予定であることが報告された。
- ・女性小児外科医の活躍を支援する活動の導入について検討したことが報告された。
- ・国際・広報委員会の分割化による広報委員会の強化について検討したことが報告された。国際委員会、広報委員会の委員会規則の準備を依頼することが確認された。

(25) 日本外科学会理事会 (田尻監事)

田尻監事より、今回特に報告事項がない旨が述べられた。

(26) 四者協関連 (家入理事長)

家入理事長より口頭で、大きな動きはないことが報告された。

7) 胆道閉鎖症パンフレット監修に当たってのお願い (家入理事長)

家入理事長より日本小児期外科系関連学会協議会を通して、日本小児科学会・小児慢性疾患委員会から、胆道閉鎖症パンフレットの監修依頼があったことが報告された。検討の結果、重複で差し支えなければ新生児マススクリーニング検討小委員会推薦の委員として日本小児科学会委員会委員に参加している佐々木英之先生(日本小児外科学会評議員)を推薦すると回答することが承認された。

8) 日本小児麻酔学会からの問い合わせの件 (家入理事長)

家入理事長より資料に基づき、日本小児麻酔学会から2022年度～2024年度の3年間の小児外科手術件数の全国レベルでの記録について問い合わせがあり、公開済である日小外会誌第59巻5号に掲載されたAnnual Report 2021、Surgery Today (2025)に掲載された2023 National Clinical Database Annual Report by the Japan Surgical Societyを紹介したことが報告された。先方の事務局からは、10月4-5日に開催される日本小児麻酔学会第30回大会での小児麻酔の現況をテーマとした理事長企画で参考資料としたい旨の連絡があり、2025年10月20日発刊予定の小児外科学会雑誌で公開する前のアニュアルレポート

2022 および 2023 を提供してよいか審議され、承認された。先方に送付する際には、校正の段階のものであり、10月20日以前に使用する場合は未発表データであることをことわって発表していただくよう伝えることとなった。

1. 報告事項

1) 理事長報告（家入理事長）

- (1) 外科系学会社会保険委員会連合からの寄贈本「社会保険診療報酬に関する改正要望書（CD-ROM）」を受領した。
- (2) 日本がん治療認定医機構からの寄贈本「がん治療認定医教育セミナーテキスト 第19版」を受領した。
- (3) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.422」を受領した。
- (4) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中9月号」を受領した。
- (5) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 9月号」を受領した。
- (6) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「2024年度事業実績報告書」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（家入理事長）

次回定例理事会は令和7年10月29日（水）11:00～14:00 千里ライフサイエンスセンター 603-604号室で開催する予定であることが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____